

おおふな

2025年3月25日 No.75

発行者：小林洋一 編集：情宣部

JR東労組 大船支部

大船支部第28回定期委員会開催！！



2025年3月22日（土）、鎌倉生涯学習センターにて大船支部第28回定期委員会を開催し、スローガン、運動方針を含め参加した全組合員で2025JR総連春闘のたたかいで培った組織力を基礎に、あらゆるハラスメントや暴力行為を許さず、組織強化・拡大を実現していくことを満場一致で確認しました。

主な発言内容

2025JR総連春闘について

●春闘メッセージ行動100%貫徹。回答の怒りと悔しさを原動力にして、分会全体の機運を高めていく。●3・6横浜地本春闘総決起集会に参加した。数の力は大切。組合員を増やす努力をしていく。●インバウンドのお客さまも増えている。●職責が変わっても物価は変わらない。ベアに格差がつくことはおかしい。●超勤をせずとも、所定労働時間だけ働き、基本給だけで生活できる余裕が欲しい。●物価高もあるなかで、夏季手当はわずか+0.1。ベアの格差も拡大。到底納得できない。●本部緊急アンケートを組合員だけでなく未加入者や社友会会員にも声をかけた。まだ声かけできていない人もいる。継続して声をかけていきたい。●春闘集会に参加した。18以前に比べたら人数は少ない。拡大も重要。

過半数代表者選挙について

●組合員以上の票数を獲得することができた。勝利はならなかったが、対話を通じて未加入者のさまざま考えや思いを掴むことができた。

あらゆるハラスメントや暴力行為を許さないたたかいについて

●対話は全組合員貫徹した。分会も全力でたたかっていく。●同じような被害を受けている人は他にもいるのではない。自分の職場も心配になるが、そうさせないために声をかけあっていく。●宇都宮運輸区での懲罰的日勤教育もJR武蔵小金井駅暴行事件も酷い実態だ。仲間にこれ以上同じ思いをさせたくない。●声を上げ続けていくことが大切。そうでなければハラスメントは続いていく。支援を続けていく。●JR武蔵小金井駅暴行事件について、自分が入社した時の環境と全く違うことを役員との議論で気付かされた。

職場問題について

●そもそもの出面数が足りていない。窓口を開けるために本来違う業務を担当するはずの人が窓口へ。作業ダイヤ通りに進まないのはストレス。●社友会会員が「会社に対しての怒りはすごいある」と話してくれた。そうした意見をくみ取っていくことが重要。●ダイヤ改正で新たな作業が増えた。事前準備がずさん。説明も十分にされない。事前のトライアルも周知されていない。●人を減らし、駅の窓口も減り、その中で新幹線分離。多くのお客さまにご迷惑をおかけしている。●誰もから愛されるJR東日本にしていくことが大切。●転職等で辞めていく人が多い。中堅社員も退職。異動も多く、技術力は落ちている。●新型車両も故障ばかり。忙しいのに要員不足。新車で来た車が早速部品取りに使用されている。●一番の商品は車両だ。イベント等で稼ぐのは良いが、安全をしっかりとしないと、本当に大きな事故が起きる。●異動してまだ1年なのにもう見習いがつく。ジョブプロテで来た人がジョブプロテで来た人を教えている状態。（→別の組合員から・そのような教育をやってきたこともある。異動してきた人なりの不安等もある。でもその場合はフォロー体制を充分にすることが重要）●自分もジョブプロテで来て、ほどなく見習いがついた。無理だと思ったら無理だと言うことも重要。

東労組について

●女性組合員の声を集約していくことも重要。●分会長が異動となり代行に。重圧もあるが、みんなで協力して分会を支えていく。●みなさんの力強い発言を聞いた。OBとしてもより一層がんばっていく。

25春闘で培った組織力をもとに、職場からさらなる組織強化・拡大を実現しよう！！